

祭り・行事

困難な時期を過ごしていた市民にとって、祭りや行事は活力の源でした。

その中でも代表的なものの一つとして「長崎くんち」が挙げられます。くんちの踊り町が受けた戦災は大きく、道具類の焼失も多々ありましたが、原爆投下から2か月もたたない1945（昭和20）年10月7日に、有志による本踊りが奉納されました。終戦直後の混乱のなか行われたささやかな奉納踊りでしたが、市民に勇気を与え、その後のくんちの復活に繋がったと言われています。

この他にも様々な祭りや行事が開催され、街は活気を取り戻していきました。



長崎くんち

撮影時期 1946(昭和21)年10月

撮影 小笠原 正巳

所蔵 (公財)長崎平和推進協会写真資料調査部会



長崎復興祭

撮影時期 1946(昭和21)年11月

撮影 小笠原 正巳

所蔵 (公財)長崎平和推進協会写真資料調査部会



長崎復興平和博覧会

撮影時期 1952(昭和27)年4月

撮影 堺屋 修一

所蔵 堺屋 志津子



港祭りの仮装行列

撮影時期 1955(昭和30)年4月

撮影 不詳

所蔵 堺屋 志津子